

保健医療記録共有サービスについてのアンケート調査のお願い

荒木@聖マリア病院です。

クリニックの先生方にご協力頂ければと思い、メールいたしました。

国は「保健医療記録共有サービス」というものを 2020 年度から稼働予定で、その準備を行っています。日医も協力予定です。

クリニック、急性期病院、非急性期病院、調剤薬局からレセプト情報を集め、それをもとにして患者の診療情報を一覧できる専用ビューワ（ID-Link に似ています）を開発し、急性期病院の救急、医療機関での外来初診等、調剤薬局での調剤業務において役立てることを念頭に設計中です。

毎月のレセプト送信時に、同じファイルを日医のサーバに送信するだけの操作です。現場への負荷がかからないように計画されています。国に送っているレセプトデータを利用しないのは、それが法律で出来ない決まりだからのようです。また、今回のデータ送信先は日医で、医療機関側が国の「管理」を懸念しないように配慮されているようです。

アザレアネットのようなネットワークのない地域でも最低限のサービスが提供できるようにレセプト情報（当然月遅れになります）を利用した簡易型のネットワークのイメージです。ただ、アザレアネットでは開示出来ていない非急性期病院やクリニックの情報も本サービスにて閲覧できますので、アザレアネットの機能の補完が期待されます。

今年度と来年度で実証事業を行い、仕組みを構築していく予定ですが、過日厚労省から日医経由で連絡があり、アザレアネットとピカピカリンクととびうめネット（福岡県と佐賀県）が今年度の実証フィールドに選定されました。光栄なことです。アザレアネット運営委員会で協議を行い、協力することとなりました。今年度はレセプトデータ送信は行わず、机上運用をもととするヒアリングが主の事業となりそうです。本事業の専門家会議がこれから 3 回開催される予定で、小生は実証フィールド担当者として参加することとなりました。

11/7（水）に急性期病院、非急性期病院、クリニック、調剤薬局が各 1-2 施設参加したヒアリングが行われ、いろんな立場のスタッフが意見を出して、議論しましたが、クリニックが本サービスにどの程度協力出来るかについては、もっと詳しい調査が必要と感じました。そこで今回の調査項目を準備し、この ML で調査させていただくこととしました。ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご協力頂ければ幸いです。クリニックのご意見を集約しておかないと、国が勝手に制度設計してしまいますので、専門家会議で利用させて頂き、皆さんのご意見を反映したいと考えています。

では、各設問の趣旨についてご説明します。

先日のヒアリングの結果、レセプト情報以外に検査値のニーズが高いことが分かってきました。クリニックや非急性期病院の検査値のほとんどは検査センターが管理していることから、各センターと本サービスを接続して、検査値も見に行ける環境構築が検討されています。しかし検査センターは依頼元からデータを預かっているという立場ですので、依頼元の許可がないとデータ転送には同意出来ないと思われます。そこで依頼元である各施設がデータ開示に同意できるかを調べる必要が出て来ました。それが設問2に繋がります。それに先立ち、検査値共有のニーズについて伺うのが設問1です。

また、患者に出された処方薬については、処方した医療機関や調剤薬局のレセプトを元の開示することになりますが、調剤薬局からの開示によって自施設からの処方内容が開示されるにあたって、どのような条件であれば同意できるかを伺うのが設問3です。既にお薬手帳にも施設名は記載されていますので、大きな問題はないかと思われそうですが、確認しておきたいと思います。

一番課題が多いと思われるのが、クリニックからのレセプト提供です。提供を躊躇されるクリニックも多いと思われますので、忌憚ないご意見を頂ければと思います。設問2でc.に回答されるクリニックは、設問4でもb.には同意されないと考えられます。

なお、設問2と3に出てくる患者同意ですが、本サービスでは患者同意を基本としているものの、データ提供やデータ参照の度に同意が必要では利便性を阻害して使われなくなることが予想されますので、誰がいつどんなデータを参照しに来たかを後日患者が確認及び異議申し立てができる仕組みを検討予定であり、事後承認はその仕組みによるものを指します。

ご多忙とは思いますが、11/26（月）までにご回答頂ければと思います。集計結果は、匿名化することをお約束します。ML宛ではなく、私のアドレス宛に送信願います（返信ではなく、回答のみを私宛に送るのが無難です）。

◎ 保健医療記録共有サービスについてのアンケート調査

1. 本サービスによる検査センターの検査値開示とアザレアネットを組み合わせることで、地域の医療機関で検査された検査値のほとんどが共有可能となりますが、貴施設でのニーズはどの程度でしょうか？

a. 日常的に使うことになる

- b. 特定の患者や当番医など限定した状況で使う
- c. 使わないであろう
- d. その他（ ）

2. 検査センターに依頼した自施設の検査結果を本サービスに提供するにあたっての許可条件は何でしょうか？

- a. 許可できない
- b. 患者の同意（事後承認を含む）
- c. 施設名の非開示
- d. a. と b. の両方
- e. 条件なし
- f. その他（ ）

3. 自施設からの処方箋を調剤した調剤薬局からの調剤情報が開示されるにあたっての許可条件は何でしょうか？

- a. 許可できない
- b. 患者の同意（事後承認を含む）
- c. 施設名の非開示
- d. a. と b. の両方
- e. 条件なし
- f. その他（ ）

4. 自施設のレセプトを本サービスに送信する場合の許可条件は何でしょうか？

- a. 許可できない
- b. 検査歴（検査値は含まず）のみなら可
- c. 処方のみなら可
- d. 検査歴と処方なら可
- e. 病名以外なら可
- f. 条件なし（全て開示可）
- g. その他（ ）

- 1. —a
- 2. —d
- 3. —d
- 4. —c

のようにご回答下さい。

以上です。長文失礼しました。

+-----
| 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
| 聖マリア病院 地域連携担当／医療情報部部长 荒木 昭輝
| TEL 0942-35-3322 内 6043 FAX 0942-34-3707
| E-Mail: a_araki@st-mary-med.or.jp
+-----